別海町立西春別小学校　学校だより

か　ら　ま　つ　　No. 8

平成２８年　８月３０日発行　　発行責任者　校長　野口　泰秀

２学期を迎えて
ー「身がまえ」「着がまえ」「心がまえ」のある生活をー

校長　野　口　泰　秀

リオオリンピックとポケモンGoで話題が尽きなかった２５日間の夏休みも終わり、静まりかえっていた校舎に子どもたちの笑顔と歓声がもどってきました。児童玄関前にはそれぞれ工夫し、苦労して仕上げた工作や絵などの作品が展示され、子どもたちもお互いに鑑賞し合っています。

夏休みを振り返りますと、７月はプール開放が閉鎖されるほど涼しい気候が続きました。８月上旬は気温が上がりましたが、すぐに秋の気配が訪れ、本当に夏が短く感じられました。地域や保護者の皆様が主体となって取り組んでいただいた、ラジオ体操や子ども会行事、盆踊りでは、準備やお手伝いにご苦労いただいた姿から「地域のために」「子ども達のために」という思いが強く伝わってまいりました。また、自転車乗りをしているお子さんの様子を見ますと、ヘルメットを身に付ける子が多くなり、交通安全に関わる意識が高まっていることを感じました。大きな事故がなく２学期を迎えることができ、安心しました。地域・保護者の皆様のご理解とお力添えのおかげと深く感謝申し上げます。

始業式では、高学年代表が、「夏休みの思い出・２学期にがんばること」について発表しました。お祭りやキャンプでの思い出など、夏休みでなければ体験できないことや２学期ではクロスカントリーやバドミントンを頑張りたいことなどが力強く話されました。

私からは、２学期に頑張ってほしいこととして、身体や身に付ける物、そして心の準備の大切さを①「身がまえ」②「着がまえ」③「心がまえ」の３つの言葉をもとに、具体的な場面をもとにお話しさせていただきました。子どもたち一人一人にとって、けじめのある自立した生活につながってくれることを期待しています。

２学期は、収穫フェスタ（９月８日）、クロスカントリー記録会（９月２１日）、学芸会（１０月１５日）、別海町合同音楽祭（１１月１日）など、いろいろな行事が予定されています。また、１年間でもっとも教育活動が充実し、成果が期待できる時期です。日常の授業や行事等を通して、社会性や自立性、表現力、更には豊かな感性や思いやる心など健やかな心と身体を育てていきたいと思っています。

今後も保護者の皆様、地域の皆様の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

２学期に頑張って欲しいこと①・・・「身がまえ」

「かまえ」には、準備を整えること。という意味があります。

２学期は、準備を整えて学校生活に望み、正しい理解や良い判断ができる子に育って欲しいと願っています。

さて、「身がまえ」とは、身体の準備を整えることであり、「姿勢」に工夫を加えることが大切なポイントです。

始業式では、列の両端で話を聴いている４年生や６年生が体を斜めにし、私と目が合うように工夫している良さを例に、目を合わせて聴くといつもより話している人の話が頭に入り、理解が深まることをお話しました。他にも、勉強中の姿勢や廊下歩行の姿勢についてもお話ししています。

身体が自然と正しい「姿勢」となることは、健康や危機管理にもつながります。各ご家庭におきましても、食事中や読書中の姿勢など、身近なところから気をつけていけるようにお話ください。